



# 亀中だより

No.30 令和5年10月20日 文責 岡田

For The Students!

ラグビーやバレーボールのワールドカップなどたくさんのスポーツ競技に日本中がわく中、中国・杭州で行われたアジア大会が10月8日閉会しました。競技への注目はもちろんですが、選手やチームの振舞いにも話題がありました。女子バスケットボールでの日本チームは、決勝戦終了9秒前にゴールを決められ、1ゴール差で惜しくも敗戦しました。しかし話題となったのはこのあとです。表彰式は、1位の中国、2位の日本、そして3位の韓国。それぞれにメダルがかけられた後、3チームの選手がそろっての集合写真が撮られました。その時の写真が下の一枚です。



写真:THE ANSWER より

## 日中韩友情の一枚

国際関係では何かと話題となる3か国ですが、スポーツを通して競い合うもの同士が、試合を終えた後、たたえ合う美しい写真です。表彰式の直後、3か国の選手がコート上でお互いに健闘をたたえあい、日本の選手たちも中国、韓国の選手とハグを交わし、満面の笑みで言葉を掛け合っていたそうです。日本チームのキャプテン：高田真希選手は、自身の X(旧ツイッター)にこの写真を投稿。次のように語りました。

**ライバルは時として憎らしく壁となって立ちほだかる。  
だからこそお互い切磋琢磨し成長し合える。  
そこには必ずリスペクトがあります。  
スポーツの枠を超えても世界が平和である事を望みます。**